

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成23年1月27日(2011.1.27)

【公開番号】特開2009-223144(P2009-223144A)

【公開日】平成21年10月1日(2009.10.1)

【年通号数】公開・登録公報2009-039

【出願番号】特願2008-69260(P2008-69260)

【国際特許分類】

G 0 3 G 15/08 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/08 1 1 2

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

トナー補給ポンプによってトナーを補給するトナー補給手段を備え、ある一定時間前記トナー補給ポンプを駆動することによりトナーを収容したトナー収容容器から一定量のトナーを現像装置側に補給するトナー補給手段を有する画像形成装置において、

前回のトナー補給終了時間からの間隔に応じて、予め設定されたトナーの補給量を補正する補正手段を備えていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項2】

請求項1記載の画像形成装置において、

前記間隔と対応する補正用補給量を記憶したテーブルをさらに備え、

前記補正手段は、前回のトナー補給終了時間からの間隔と該テーブルとに基づいて該間隔に応じた補正用補給量を求め、前記トナー補給手段によって補給されたトナー量を積算する際に該補給量補正值を積算することによって補正することを特徴とする画像形成装置

【請求項3】

請求項1記載の画像形成装置において、

前記トナーの補給量が色毎に、かつ、前回のトナー補給終了時間からの間隔によって異なることを特徴とする画像形成装置。

【請求項4】

請求項1記載の画像形成装置において、

前記補正手段による補正を行うか否かを選択する選択手段を備えていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項5】

請求項1記載の画像形成装置において、

前記補正手段による補正補給量をユーザが設定する設定手段を備えていることを特徴とする画像形成装置。

【請求項6】

請求項1記載の画像形成装置において、

前記補正手段は、トナー容器が新品に交換された場合は、前記前回のトナー補給終了時間からの間隔をクリアし、旧品に交換された場合は、前記間隔を継続して使用してトナー

補給量の予測を補正することを特徴とする画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

第2の手段は、第1の手段において、前記間隔と対応する補正用補給量を記憶したテーブルをさらに備え、前記補正手段は、前回のトナー補給終了時間からの間隔と該テーブルとに基づいて該間隔に応じた補正用補給量を求め、前記トナー補給手段によって補給されたトナー量を積算する際に該補給量補正值を積算することによって補正することを特徴とする。

第3の手段は、第1の手段において、前記トナーの補給量が色毎に、かつ、前回のトナー補給終了時間からの間隔によって異なることを特徴とする。

第4の手段は、第1の手段において、前記補正手段による補正を行うか否かを選択する選択手段を備えていることを特徴とする。

第5の手段は、第1の手段において、前記補正手段による補正補給量をユーザが設定する設定手段を備えていることを特徴とする。

第6の手段は、第1の手段において、前記補正手段は、トナー容器が新品に交換された場合は、前記前回のトナー補給終了時間からの間隔をクリアし、旧品に交換された場合は、前記間隔を継続して使用してトナー補給量の予測を補正することを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】